

SOAI [相愛ファミリア]

Familiar

SOAI Familiar //  @soai_insta

SOAI Familiar //  @SOAI_univ

第一線で活躍中のプロの先生が
真摯に向き合って指導してくれる
それが相愛学園の魅力。

2023
No.39

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1

相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号



社会で活躍する卒業生

大阪フィルハーモニー交響楽団
ヴィオラトップ奏者

芝内 もゆる さん



2004年～2013年 相愛大学附属音楽教室
2013年3月 相愛中学校 進学コース 卒業
2016年3月 相愛高等学校 高校音楽科 卒業
2020年3月 相愛大学 音楽学部 音楽学科
特別演奏コース 管弦打楽器専攻 卒業
2022年3月 相愛大学 大学院 音楽研究科 修了
2022年8月～大阪フィルハーモニー交響楽団
ヴィオラトップ奏者として所属

受賞歴

- 【ヴァイオリン】
- 第68回全日本学生音楽コンクール
大阪大会高校の部第1位
- 第23回松方ホール音楽賞奨励賞受賞
- 第6回タデウシュ・ヴロンスキ国際
ソロヴァイオリンコンクール(ポーランド)
にて特別奨励賞受賞
- 【ヴィオラ】
- 第26回KOBE国際音楽コンクール
弦楽器部門にて最優秀賞および
兵庫県教育委員会賞受賞



相愛学園での学びを支えに
大フィルへ

「大学院では、大フィルでも演奏されていた竹内晴夫先生にヴィオラを教わっていて、私の背中を押してくださいました。大フィルとは中学時代に共演経験があり、音楽監督の尾高先生の指導を受けるなどご縁を感じ、憧れのオーケストラでもあったのでオーディションを受けてみようかと決意しました」。審査員から演奏者の姿が見えない“カーテン審査”と呼ばれる1次審査では緊張したものの、団員全員が客席にいる前で行われた2次審査では伸びやかに演奏でき、晴れて合格することができました。大フィル入団後1年ほどで、すでに100回を超える公演で演奏。「相愛学園のオーケストラの授業が、私の支えになっています」。実はこの取材も大阪市のフェスティバルホールで開催される大フィル定期演奏会の最終リハーサル前に行われ、数時間後には本番が控えているにもかかわらず、朗らかな笑顔でインタビューにこたえてくれました。「長い歳月をかけて醸成されてきた“大フィル・サウンド”と呼ばれる、深く洪くダイナミックな音色を守っていきたい。将来はいろんなジャンルに柔軟に対応できるヴィオラ奏者になることが目標です」。芝内さんは目を輝かせてそう話すと、足取り軽く舞台に向かって行きました。



日本を代表するオーケストラ
「大阪フィルハーモニー交響楽団(以下 大フィル)」で
ヴィオラトップ奏者を務める芝内もゆるさん。
楽器を始めたきっかけや相愛学園で過ごした日々を振り返るとともに
これからの目標も語っていただきました。

オーケストラとの出会いは
小学1年生

芝内さんが初めて楽器と触れ合ったのは4歳の時。「チェロを習っていた2歳上の姉を見て、私も何か始めたい」と言ったそうです。小さい身体でチェロを担ぐのが大変という理由で、芝内さんが選んだのはヴァイオリンでした。しかし、自分から言い出したもののレッスンは厳しく、日々練習に追われていたとか。「ただ、小学1年生から入った相愛学園の音楽教室でオーケストラの魅力を知り、みんなと一緒に演奏することの楽しさを知りました」。小学校を卒業後は相愛中学校へ進学。中学1年生で、すでに大フィルと共

演した経験を持ちます。相愛高校では音楽科へ進み「第68回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部」で第1位に輝くなど充実した日々を過ごしました。

今につながる出会いがあった
大学時代

高校時代、演奏家としてはもちろん、指導者としても名高い小栗まち絵先生にヴァイオリンを習っていたことから「もっと指導を受けたい」と思い、先生が教授を務めておられる相愛大学に進学しました。大学では小栗先生だけでなく、多くの門下生を抱える大谷玲子先生のレッスンも受講。「相愛大学の魅力は先生

方との距離がとても近いところだと思います。プロの音楽家として第一線で活躍されている先生ばかりです。どの先生も学生一人ひとりと真摯に向き合って指導してくださいます」。ほかにも、大学では芝内さんにとって大切な出会いがありました。「滋賀県でオーケストラ合宿が行われた際に、現在の大フィルの音楽監督であり、相愛大学の客員教授でもある尾高忠明先生が来てくださって、直接指導を受けることができました。他の大学ではなかなか得られない機会だと思いますし、とても貴重な経験となりました」。大学在学中には「第23回松方ホール音楽賞」で奨励賞を受賞するなど、さまざまなコンクールに挑戦したことも成長につながったと話します。

ヴィオラを本格的に始めた
大学院時代

相愛大学を卒業後は相愛大学大学院へ進学。大学のオーケストラの授業でヴィオラを担当した時があり「オーケストラでヴィオラを弾くのもいいな」と感じたことから、大学院ではヴァイオリンとヴィオラの両方を勉強しました。「ヴィオラは音域が人間の声が一番近い楽器と言われていて、温かい気持ちになれる音色が素敵だなと思います」。芝内さんはヴィオラを始めて1年目で「第26回KOBE国際音楽コンクール弦楽器部門」最優秀賞および兵庫県教育委員会賞を受賞。そして大学院2年生の夏、大フィルがヴィオラトップ奏者を募集していることを知りました。

第一線で活躍中のプロの先生が
真摯に向き合っていて指導してくれる
それが相愛学園の魅力。

Round-Table Talk
本町学舎、未来へ。

相愛中学校・高等学校では現在、本町学舎の建て替えプロジェクトが進行中です。竣工予定は2026年。
今回は金児暁嗣理事長(以下、金児)、園城真生校長(以下、園城)、設計・施工を担当される大成建設から加賀田健司 関西支店長(以下、加賀田)、都市開発本部 開発事業部 佐藤幸一 部長(以下、佐藤)にお集まりいただき、本町学舎の未来像について語り合っていました。

本町学舎の建て替えを計画されたきっかけをお聞かせください。

金児 本町学舎の老朽化対策について考えていたところ、隣り合うビルを所有されている大成建設様も同じお悩みをお持ちでした。そこで、本町学舎とビルを同時に解体して、さまざまな企業が入居する新たなビルを建設し、その中に学校が入るのはどうかというご提案を受けました。

加賀田 学校と企業のオフィスが一体化した複合ビルを建設することで、今後緑や歩行者空間が拡充される御堂筋にさらなるにぎわいが生み出され、都市文化を高める拠点となることをめざしました。生徒の皆さまにとっても、実際にビジネスパーソンが働く姿に触れられる環境で刺激を受けながら学ぶことは、キャリア教育を進める上でも非常に有意義であると学園様にアピールいたしました。

園城 今、多くの学校ではこれからのグローバル社会を見据えたキャリアの育成として「ICT教育」「アクティブラーニング」が学びの軸になってきており、そのための専用教室も設置されています。しかし、その一つひとつの機能を活かした教室配置ができていない場合も多々あります。新しい学舎ではさまざまな用途の教室と設備を特色ある

個別のエリアとして設定することを考えています。そこでは、生徒たちが自主的に発表を行い、ディスカッションを繰り返し、発信していくという一連の流れで、学習の到達度の向上をめざします。さらに、企業と協同することで地域に開かれた環境が構築され、本当の意味でのアクティブラーニングが実践できると考えています。

金児 最近、大学では複合ビルの中にキャンパスを構えるところが出ており、東京では小学校が設置されて入学希望者が殺到しています。最新のビル内は高度なセキュリティを有している上に、地震対策も行き届いており、保護者の方々から高く評価されていることが理由の一つと伺っております。

佐藤 本町学舎が入るビルは、地震の揺れを逃がして躯体にエネルギーを伝えない免震構造を採用しています。さらに停電の際は自家発電に切り替わり、およそ3日間の電力供給が可能です。また、大阪市から防災拠点としての指定があり、非常用の食料、備蓄品を保管するための倉庫を設けることにもなっています。

加賀田 複合ビルとして多くの人々が集う場所も考えています。卒業生が大学進学や社会に出た後、またここに

帰ってくる「心のふるさと」のような場所になればいいなと思っています。
工事着手までに綿密な準備を進められてきたそうですね。

園城 本プロジェクトのスタート時から私どもと大成建設様が定期的に集い、都市開発の仕組みから今後の教育の在り方まで時間を掛けて話し合いを重ねてきました。その際、空間づくりにはコンセントの位置など、各教室を利用する生徒や教員の動線にあわせた効果的な配置となっているかを考え、細部に渡り議論と修正を繰り返してきました。このことは、より生徒の目線に立って教育を見つめ直すきっかけとなり、教職員のスキルアップにもつながっていると思います。

金児 本プロジェクトの健全性を保つことを目的に、中立的な第三者評価機関として別の設計会社様にもアドバイスをいただきました。また、交渉については学園の顧問弁護士に相談させていただき、助言をもらったことで、さまざまな課題をクリアしながら事業を進めていくことができていると思います。

園城 新しい本町学舎は地上26階建ての高層ビルの2階から8階に入り、その上が賃貸オフィス、そして地上14階建てのホテルとも一体化します。詳細は改めて「相愛ファミリア」などでお伝えしていきます。



相愛中学校・高等学校
校長
園城 真生

学校法人相愛学園
理事長
金児 暁嗣

大成建設株式会社
専務執行役員/関西支店長
加賀田 健司

大成建設株式会社
都市開発本部 開発事業部
部長 プロジェクトリーダー
佐藤 幸一

Global Education SOAI version

加速する SOAI版グローバル教育

中学校でもオンライン英会話がスタート!

2022年度に新たな取り組みとして、中学生の英語の授業でもオンライン英会話を導入しました。「オンライン英会話 CHATTY」の協力のもと、相愛中学校完全オリジナルのテキストを使用して、フィリピン人の講師の方とZoomを利用した授業をスタートさせました。一対一のオンライン英会話では、語学を学ぶだけでなく自己を見つめ、どのように相手に考えや思いを伝えるのか、相手が伝えようとしていることは何なのかなど会話を通して気持ちを汲み取る力も養っています。



where are you now?

I'm in Osaka



I go to Soai junior high school

オータムスクールもグローバル化

昨年度から新たに中学2年生のオータムスクールの行き先を東京方面に変更し「TOKYO GLOBAL GATEWAY」と「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」を訪問しました。



where are you from?

TOKYO GLOBAL GATEWAY

原則日本語禁止のもと、さまざまなシチュエーションでの体験やアクティブラーニングを通して「英語を話す」ことに取り組みました。ここでは言葉の壁を越えて、相互理解に努め、心と心が寄り添う会話を楽しむことを大切にしています。初めは戸惑いを隠せなかった生徒たちも、たっぷり3時間も英語を話し、終わったときの顔は達成感で満ち溢れていました。

What's your name?

I'm from Osaka



いらっしやいませ~

分身ロボットカフェ
DAWN ver.β



外出困難者がロボットなどの最先端の技術を通して、社会とのつながりをつくり出すことを目的としたカフェであり、ロボットを介して「人と人とのつながり」を実感することができました。ロボットやAI技術を通して、さまざまな方とのつながりを持続・加速する社会を体感したことは、これからの社会を担う生徒たちにとって、とても貴重な経験となりました。

2人の感性がぴったり合い
今回は納得のいく
作品ができました

松田 楓 さん
高校 普通科専攻選択コース2年生

いろんな方に支えてもらったので
感謝の気持ちとともに優勝という結果で
恩返しができてよかったです

上田 奈々葉 さん
高校 普通科専攻選択コース2年生



「第6回 全国高校生 花いけバトル 栗林公園杯2022」が

2023年1月22日(日)に香川県高松市で開催。

会場に用意されたさまざまな花材を使い

高校生2人一組の「バトル」が対戦方式で花を生け、制限時間5分の中で作品を完成させます。

相愛高校からは近畿大会を勝ち抜いた松田楓さんと上田奈々葉さんによる

チーム「相愛 楓葉(メイプルリーフ)」が出演し、白熱の戦いを繰り広げました。

相愛中学校・高等学校

2人一組で挑む「花いけバトル」 お互いを信頼し合い全国優勝

全国大会で練習の成果を発揮

迎えた翌年の近畿大会では見事優勝。しかし、全国大会出場権を得たものの「5分間を上手く使えず、完成度も納得がいかなくて…」と悔いが残ったそうです。決意も新たに臨んだ全国大会。全国13ヶ所で開催された地区大会優勝チームが集う中、予選第1ラウンド・第2ラウンドが行われ、審査員による合計得点の結果、6チームが決勝ラウンドへ。その中に「相愛 楓葉(メイプルリーフ)」のチーム名がありました。「近畿大会後も先生のアドバイスを受け、練習を積み重ねてきたので、あれこれ考える間もなく自然と身体が動きました」と上田さん。「私たちはプランを決めず、直観で花を生けるタイプ。2人の感性がぴったり合い、今回は納得のいく作品ができました」と松田さんは話します。

わずか5分、即興で花を生ける

松田さんと上田さんは、ともに高校2年生。相愛中学校在学時の授業をきっかけに華道を始めました。高校に進学し、先生が教えてくれたのが「花いけバトル」。すぐに先輩が出場した過去の大会をYouTubeで観たものの、わずか5分という制限時間の中、即興で作品を完成させる様子を見て「自分たちにこれができるのかな」と不安を抱いたそうです。高校1年生で初めて近畿大会に参加した2人の結果は地区3位に終わりました。

花を生ける楽しさを伝えたい

続く準々決勝、準決勝も勝ち進み、いよいよ決勝戦へ。先鋒戦と次鋒戦の合計得点で争う中、2人はこれまでのすべてを舞台上で表現しました。コロナ禍の影響で、3年ぶりの有観客開催となった本大会。「花を生ける楽しさを多くの人に伝えたいと思っていたので、作品だけでなく花材を選んで取り組む姿も見られる有観客のほうがモチベーションも上がり、競技に取り組みやすかったです」。悔いなく実力を出し切った5分間。2人の挑戦は日本一というかたちで花が開きました。「先生や家族が喜んでくれている姿を見て、私たちもうれしかったです」と松田さん。「いろんな方に支えてもらったので、感謝の気持ちとともに優勝という結果で恩返しができてよかったです」と上田さんも笑顔を見せます。春からは生徒会でもタッグを組み、松田さんが生徒会長、上田さんが副会長を務めます。「コロナ禍で控え目だったみんなの高校生活に、楽しい思い出をつくれるようにしていきたい」と信頼を寄せ合う2人は熱く抱負を語ってくれました。

お弁当に広がる「和歌山の自然」

入学後は商品開発プロジェクトやコンクールの話を聞くと、積極的に参加してきた中村さん。農林水産省「近畿農政局学生おべんとうコンクール2021」では1回生でありながら「アイデア賞」と「おいそいで賞」をW受賞しました。この年のテーマは「近畿の食材が入ったお弁当」。和歌山県出身の中村さんは、郷土料理である「めはり寿司」や「ごんばちの油炒め」「梅干しで和えたおくら」など、地元の豊かな食材を盛り込んだお弁当を応募しました。中でも自信の一品が「鶏の山椒味噌焼き」。特産品のふどう山椒を下味に使用しました。審査員からも「和歌山らしさが表現できているお弁当」と絶賛されました。

団体の部でグランプリ受賞

翌年の同コンクール2022では、同じクラスの仲間3人と団体の部に応募。「お弁当でSDGs!」というテーマに対し、近畿の有機農作物を用い「親戚が集うお盆の日に大人と子どもたちが一緒に楽しめるお弁当」に仕上げました。審査結果は授業中に発表され、見事グランプリを獲得。「3人で喜びを分かち合い、すぐに次年度も挑戦することを決めました」。ほかにも京阪百貨店とのコラボで、テーマに応じたレシピを考えるプロジェクトや、懐石料理「徳」のお弁当メニュー開発などにも参加。「他の大学と比べて、知識だけでなく調理技術や実践力を伸ばすことができるのが相愛大学の魅力」と中村さんは話します。

より自分らしく輝ける明日へ

臨床工学技士であるお父様のアドバイスを受け、将来は病院で活躍する管理栄養士をめざしていましたが、大学の学びを通じて商品開発の仕事にも興味を持つようになり、頭を悩ませていました。「3回生からは臨地実習が始まり、病院の管理栄養士の仕事を体験できます。授業以外のことも親身になって相談に乗ってくださる杉山先生を始め、さまざまな方々の話を聞きながら進路を決めていきたいです」。確かな知識と技術、経験、実績を積み上げながら、より自分らしく輝ける明日へ中村さんは歩み続けます。



近畿農政局
学生おべんとうコンクール2022
お弁当名:夏の風物詩 夕涼み弁当
受賞:団体の部 グランプリ

相愛大学 人間発達学部 発達栄養学科

料理と向き合う実践的な授業が 私を成長させてくれます。

若い世代の食育推進と農林水産業の応援などを目的に

近畿農政局が主催する「学生おべんとうコンクール」において

2年連続で賞に輝いた中村心音さん。

入学以来、さまざまなコンテストや

商品開発プロジェクトへ参加し

料理のスキルに磨きをかけています。

知識だけでなく調理技術や
実践力を伸ばすことができるのが
相愛大学の魅力

中村 心音 さん
人間発達学部 発達栄養学科 2回生

近畿農政局
学生おべんとうコンクール2021
お弁当名:自然の恵み和歌山いなご暮らし弁当
受賞:<アイデア賞><おいそいで賞>

株式会社 徳との
お弁当開発プロジェクト
お弁当名:低糖質弁当カラダニイネ!
受賞:ファベックス惣菜・べんとう
グランプリ2023にて金賞





HPはこちら



相愛ウィンドオーケストラ第44回定期演奏会

2022年11月18日、相愛ウィンドオーケストラ第44回定期演奏会がザ・シンフォニーホールで開催されました。新田ユリ先生・若林義人先生の指揮の下、学生たちの瑞々しく熱のこもった演奏が披露されました。さらには本学松本直祐樹

教授、元音楽学部長大前哲先生の世界初演となる委嘱作品では新しい音楽の創造に挑戦し、現在世界最高のトロンボーン奏者であるF・ミシエ客員教授の素晴らしい演奏は、学生にとってかけがえのない経験となりました。昨年の演

奏が評価され、演奏会前3日間の集中練習では、相愛ウィンドのCDレコーディング第2弾が行われました(企画:ティエダ出版、録音:ワコーレコード)。この演奏会で演奏された全8曲を収録し、全国で販売されています。



相愛オーケストラ第78回定期演奏会

2022年10月21日、相愛オーケストラ第78回定期演奏会がザ・シンフォニーホールにて開催されました。上田真紀郎先生、小林恵子先生、尾高忠明先生の指揮の下、相愛ジュニアオーケストラ、相愛ストリングオーケストラ、相愛オーケストラが熱のこもった演奏を繰り広げました。また数年ぶりにプレコンサートも実現し、アンコールでは相愛オーケスト

ラと相愛ジュニアオーケストラが合同でトルコ行進曲を演奏するなど、最後まで大変華やかな公演となり、満場の客席から惜しみない拍手が送られました。



第31回学内オペラ

2022年12月26日、第31回学内オペラ《Die Zauberflöte(魔笛)》が南港ホールにて上演されました。前年同様にマスク着用で可能な限り客席と距離を取った演出の中で、ソリスト、教員、他専攻と声楽専攻混合の合唱も含め、大いに盛り上がりを見せた公演でした。アートプロデュース専攻の学生たちが作

成した音響と映像は「魔笛の世界に引き込まれるかのよう」との賛辞をいただき、ドイツ語の発音をドイツからのお客様に高く評価されるなど、大学の教育水準の高さを披露できました。コロナ禍にもかかわらず、約350名の方々に越えいただき、盛会のうちに幕を下ろしました。



相愛音楽祭

2022年10月29日、30日に台風や新型コロナウイルス感染症によって中止となっていた相愛大学祭「愛響祭」が、4年ぶりに対面で行われました。本年は初めて音楽学部独自に「相愛音楽祭」を企画し、南港ホールにて古楽器、フルート、創作演奏、ピアノ、クラリネット、サクソフォンの7専攻からソロとアンサンブルが出演し、さらに教員と助手による飛び入り演奏もあり、それぞれ素晴らしい演奏会となりました。



卒業生の活躍

相愛大学音楽学部でサクソフォンを学んだ後、ヨーロッパに渡った2人が活躍しています。

辻本 純佳(2013年度卒業)

YouTubeの演奏が大人気で現在登録者数約10万人、総再生回数は1,700万回を超えています。現在はセルマー・パリ社の公式アーティスト。ヨーロッパ各地で演奏をしつつ、ネット上では親しみやすい楽曲をカバーするなど従来の形に捉われない「新時代の音楽家の発信の仕方」を模索中。フランス・ストラズブル在住。



安 泰旭(2011年度卒業)

2022年末ベルリンフィルのジルヴェスターコンサートに客演奏者として出演しました。sonic.art saxophonquartetメンバー、ドイツ国内のフェスティバルや室内楽コンサートに招かれリサイタル公演を行い、NDRエルプフィル、ハノーファー州立歌劇場、MDR交響楽団等に客演。ドイツ・ベルリン在住。



音楽学部生/卒業生等受賞等一覧

学部生

- 新田 侑李(4回生/サクソフォン)
- 第8回Kサクソフォンコンクール 動画審査部門 大学・一般部門 第3位
- 菅野 市子(4回生/ピアノ)
- 第32回堺ピアノコンクール F部門(大学生・一般) 銀賞(2位)
- 第39回JPTAピアノ・オーデション D部門 奨励賞
- 雑賀 椋太郎(4回生/サクソフォン)
- 第23回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 木管楽器 Age-U エスポアル賞
- 第50回和歌山県新人演奏会 最優秀新人賞
- 廣野 ほのか(3回生/オーボエ)
- 第4回日本奏楽コンクール 管楽器部門 大学の部 審査員特別賞
- 第23回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 木管楽器 Age-U 入選
- 高 真炫(3回生/打楽器(鍵盤))
- 第9回さかい九頭竜音楽コンクール 打楽器部門 金賞/さかい九頭竜音楽賞
- 成 希蘭(3回生/フルート)
- 第18回仙台フルートコンクール 一般部門 入選

- 國友 結希(3回生/バスクラリネット)
- 第23回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 木管楽器 Age-U 入選
- 竹内 まどか(3回生/クラリネット)
- 第23回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 木管楽器 Age-U 入選
- ホイナー 桃子(3回生/ギター)
- 第49回日本ギターコンクール 大学生部門 金賞
- 福岡 真凜(2回生/ヴァイオリン)
- 第32回ブルクハルト国際音楽コンクール 弦楽器部門 第2位
- 大本 和司(2回生/ヴァイオリン)
- 第1回横浜国際ヴァイオリンコンクール F部門 第1位
- 田中 みのり(2回生/トランペット)
- 第13回関西トランペット協会コンクール 課題曲部門 第3位
- 第13回関西トランペット協会コンクール オケスタソロ部門 入賞
- 山岡 彩佳(2回生/フルート)
- 日本フルート協会 オンライン・アンサンブルコンテスト 部門B 金賞および大賞
- 第1回横濱国際ヴァイオリンコンクール F部門 第1位
- 第28回KOBE国際音楽コンクール C部門 木管楽器部門 優秀賞
- 日本フルート協会 オンライン・アンサンブルコンテスト 部門B 金賞および大賞

- 中山 愛実(2回生/フルート)
- 日本フルート協会 オンライン・アンサンブルコンテスト 部門B 金賞および大賞
- 日下部 愛実(2回生/フルート)
- 第25回 長江杯国際音楽コンクール 大学の部 第1位/審査委員長賞
- 藤井 楓(2回生/ホルン)
- 第9回さかい九頭竜音楽コンクール 管楽器部門 金賞/さかい九頭竜音楽賞
- 滝山 奈央(2回生/フルート)
- 第9回あおによし音楽コンクール 管楽器一般最上級部門 第1位/ステージ総合第1位/大阪市長賞
- 第28回KOBE国際音楽コンクール C部門 木管楽器部門 優秀賞
- 日本フルート協会 オンライン・アンサンブルコンテスト 部門B 金賞および大賞

卒業生

- 西川 ひかり(卒業生/ピアノ)
- 第38回JPTAピアノ・オーデション E部門 最優秀賞/萩原和子賞



HPはこちら

三テツ人の 仏教問答

本学には3人のテツ人がいます。一人目は積徹宗学長。宗教学者・住職・大学学長として多方面で活躍し、盛んな執筆活動を行っています。二人目は宮崎哲弥客員教授。政治・哲学・サブカルチャー・仏教論を主軸とした評論活動で有名ですが、最近は講演・著述活動に重心を置かれ、本学の授業で仏教思想について熱く語られています。三人目は笑い飯・哲夫客員教授。一時期は

徹宗・哲弥・哲夫 三人による特別授業



教員をめざしたほど教育に関心をもたれ、哲学・歴史に精通し、仏教をわかりやすく伝える講演活動に取り組み、本学の特別授業で仏教を楽しく解説してくださっています。

この3人が仏教について語り合う「三テツ人による仏教問答」が、2022年12月14日に南港学舎で開催されました。世間では政治と宗教のかかわりが取り上げられるなか、現代人にとって今を生きるため

にどんな教えが必要か、人々は仏教とどうかかわっていくのかなど、現代を生きる私たちと仏教思想について、2時間にわたって熱く語り合われました。前半は大学教育の意義や現代人の意識の特徴など、学生にとっても一般参加者にとっても興味深い視点が語られ、後半は聴衆の方々から寄せられた質問に答えながら先生方の人生観にも触れられるなど、三テツ人の人間性あふれる鼎談となりました。



第13回相愛寄席が2022年10月22日、南港ホールで開催されました。今回のテーマは「詐欺・拘摸・泥棒(サギ・スリ・ドロボー)」。出演者は桂春團治客員教授と桂雀五郎さん、露の新幸さん、桂咲之輔さん。そして盗人噺の名人笑福亭松喬さん。例年同様に音楽学部の学生によるウェルカム演奏で来場者をお迎えし、ホールの音響についてもご協力いただきました。また、人文学部の学生有志は、舞台のセッティングなどの事前準備、当日の受付、場内整理、司会、お茶子、音響、照明その他、終了後のアンケート整理まで寄席を支えてくれました。

相愛寄席

日本文学ゼミ 学外実習

日本文学専攻では、近代文学の荒井ゼミ・古典文学の阿尾ゼミの3回生が、大阪の「あべの」「住吉」ゆかりの文学について調査をし、冊子にまとめています。2022年11月13日には、学外研修として安倍晴明神社、伝北畠顕家の墓、梶井基次郎旧居跡、岸の姫松、阿部野



神社、住吉大社などを訪れ、調査・取材しました。昭和17年創業のビリヤード場『保名倶楽部』や、北畠顕家・親房親子を祀った阿部野神社では貴重なお話を聴くこともできました。当日はあいにくの雨でしたが、学生たちは熱心にメモを取ったり写真を撮ったりしていました。



学外研修

2022年11月22日に2回生対象の学外研修が京都にある西本願寺と京都水族館で行われました。西本願寺では御影堂・阿弥陀堂・書院を見学し、本学の佐々木隆晃先生の解説で浄土真宗の文化や建築について見識を深めることができました。京都水族館では水の生き物の生態や環境について学び、学生と教員の交流を深めることができました。



キャリア講座

敬愛会からの支援をうけ、人文学部独自のキャリアサポートセミナーを開催しました。大阪で人材育成に定評のある株式会社ヒューマンラボの協力を得て、1回生から3回生のそれぞれに2回にわたるセミ



ナーを実施しました。学生の将来への力となるセミナーで、参加してくれた学生からは「これまで具体的な就活のイメージを

持っていませんでしたが、セミナーに参加したことで自分の将来に向けて頑張っていきたい」という声を聞くことができました。



「子ども学専門演習」の取り組み

子ども発達学科の学生は、保育者や教育者をめざして4年間学びます。4回生の卒業必須科目として「子ども学専門演習」を設けており、学びとキャリアとのつながりが深い学科ならではの探求活動に加え、防災、SDGs、性の多様性など、専門家による講座も実施しています。

辻直美先生に学ぶ

防災講座

国際災害レスキューナースである辻直美先生は、身近な取り組みとして「プチプラ防災」を提唱されています。災害が頻繁に起こるようになったこともあり、テレビ、ラジオなどのメディアにも引っ張りだこです。新聞紙を持つ手首の向きひとつで衝撃から頭を守る方法や、かごや滑り止めを工夫した食器の収納で地震の時にも飛び出さないことなど、具体的な防災のお話に学生は「備えていたら減災できる」ことを実感しました。



木薫に学ぶ

木のぬくもりに触れる



「木の里工房『木薫(もっくん)』は、岡山県で林業経営と工房経営を一体化させ、山林の間伐や、間伐した木で製作した保育製品の販売をしている会社です。日本の国土の大半は森林であり、森林を守ることを現場の話を通じて学びました。間伐材を大学に運んでくださり、学生たちは保育園児たちと一緒にチェーンソーの迫力に驚いたり、直接木に触れたり、木のぬくもりをいっぱい感じていました。



みつつん先生に学ぶ

性の多様性について



みつつんこと光本豊治先生は、保育士であるとともに「LGBTs 人権教育者」です。性の多様性は、60種類以上あり「LGBTs」と表記されるそうです。学生は、講座を受けて多様性は受け入れるものというより、多様であることが自然なのだと気づき、学生のコメントには、ありのままの自分を肯定された安心感がつづられていました。時には、踊りを通してみんなが笑顔になるような体験もあり、一人ひとりに寄り添う先生の人間性に触れる時間となりました。

子ども発達学科
プロジェクト

第9回相愛子どもわくわくあそび広場



「相愛子どもわくわくあそび広場」は、子ども発達学科の最も大きなプロジェクトです。4回生スタッフを中心に全学年協働で実施し、学生同士や地域の人とのつながりにより、深い学びの機会となっています。2022年度は10月15日に実施しました。5月頃から準備を始め、夏休みに講師の方に取材をしたりと時

間をかけて取り組みました。こま回しに時間を忘れて夢中になったり、ドミノや手作り大型遊具でのダイナミックな遊びを楽しんだり、学生ステージには子どもたちも自ら参加するなど、どのコーナーもとても楽しそうでした。この2年間、コロナ禍で1時間ごとの入れ替え制にしたため「時間が短く残念」というご意見もあ

り、本年度は感染対策を徹底したうえで、2時間半続けて実施できました。事後アンケートでは、85%の方が「とても楽しかった」と回答してくださいました。参加幼児が「自分も(アンケートを)書きたい!」と言ってきて、充実した時間を過ごしたんだなあ、嬉しくなる一コマもありました。

認定絵本士について.....

2020年度に認定絵本士養成講座を開設し、2022年度末に本学では初めての認定絵本士16名が認定されます。全30講座の中には、絵本作家や絵本編集の専門家、図書館長、幼稚園長など、多彩なゲストスピーカーの講座もあり、絵本についての知識や技能を学びます。絵本作家さいとうのぶ先生の講座では、絵本が完成するまでの流れや打ち合わせ、修正について実際にお話を聴くことができ、作品に込めた思いを知ること、絵本に対する新たな考え方を見つけられる機会となりました。「何度も繰り返し絵本を読む中で、絵の変化に気付いたり、どうやって読むと楽しいかを考えたり、私なりの読み聞かせを行ってみたりするなど、講座を受けて考え方や

意識の違いが出てくるようになりました」と成果を実感でき学生の自信になりました。

認定絵本士:国立青少年教育振興機構「絵本専門士委員会」が認定する称号





HPはこちら

産官学連携で食育推進
プロジェクト「お魚料理教室」

2022年11月に1回生を対象に食育活動として「お魚料理教室」を開催しました。[協賛：一般社団法人大日本水産会、鳥取県、うおいち(大阪市福島区)]お魚は、鳥取県赤碕港産の「活〆釣りサワラ」を使用し、その他鳥取県の名産品である「紅ズワイガニ、白ネギ、ブロッコリー、柿、星空舞(お米)」を提供していただきました。鳥取県関西本部、JA全農とつり担当の方が食材・県の観光・魅力などを紹介、そのあと、うおいち担当者の方からお魚の捌き方と料理の説明がありました。初めての経験で戸惑いながらも、自分たちで役割

分担をして魚のおろし方を学び、最後まで調理することができました。

メニュー

- サワラのムニエル～バター醤油
- 白ネギのミルクスープ
- サワラのカルパッチョ～粒マスタードソース
- 紅ズワイガニ
- 星空舞(お米)
- デザート～柿(食材はすべて鳥取県産を使用)



京阪百貨店とのコラボによる
「DEH クッキング」

2021年4月に京阪百貨店とコラボしレシピ開発を始めてから2年目になりました。毎月2名の学生(2～4回生)が、旬の食材を使ったレシピと行事食を提案しています。開発したレシピや調理風景、料理の写真は京阪百貨店のホームページに掲載されており、レシピは京阪百貨店の店頭にも並んでいます。簡単に美味しいレシピを開発するため、

何度も試作を繰り返しました。学生たちはできあがったレシピを見て「季節やテーマに応じたレシピを考え、つくことは大変だったがやりがいを感じる事ができた」など満足した様子でした。



レシピは京阪百貨店のホームページにて公開中



農林水産省 近畿農政局
学生お弁当コンクール2022入賞

2022年12月16日、農林水産省「近畿農政局学生お弁当コンクール2022」の受賞式が開催されました。個人、団体ともにグランプリを受賞、6つの賞のうち、本学が5つの賞を受賞しました。受賞式では審査委員長から一人ひとりのお弁当の講評、近畿農政局長から表彰状授与、受賞者の挨拶がありました。学生たちは緊張しながらも自分の作品の発表も行いました。受賞したお弁当は有機野菜を使い、脱プラスチックや包丁を使わない調理方法、廃棄部分を活用する、火を使わず時短などさまざまな工夫が詰まっており、魅力的な作品ばかりでした。



Grand Prix

団体の部
「夏の風物詩 夕涼み弁当」
おとぼけトリオ
2回生 中村 心音さん、
村上 尚也さん、藤原 野々香さん



団体の部【特別賞(最多人気賞)】
「絆べんとう」
かなれなツインズ
3回生 原田 佳奈さん、原田 玲奈さん



個人の部【おいしそう賞】
「働く女性にたっぷり栄養ハナマル弁当」
4回生 大内 理恵子さん



個人の部【かんたん賞】
「毎日のお昼が楽しみになる彩弁当」
2回生 野崎 愛恵さん



個人の部【特別賞(最多人気賞)】
「おなかと心も満たされるふるさと弁当」
1回生 中松 愛さん

京阪百貨店とのコラボによる
「新春万福おせち」第8弾!



京阪百貨店とコラボし「新春万福おせち」の開発を行いました。第8弾は3回生2名と2回生4名のチームが開発しました。今年のテーマは「美味しく食べて笑顔になる」と「家族団欒でおしゃべりを楽しむ」など最高の笑顔になってもらいたいという思いを込めました。今年のおせち料理は和洋中で組み立て、学生が考えた新しいアイデアを伝統的なおせちに盛り込みました。またお品書きのイラストを学生が担当するなど新しい試みもさせていただきました。

株式会社光洋設立50周年「お弁当開発プロジェクト」に参加しました。本学科の卒業生であるデリカ部門バイヤー(管理栄養士)とコラボレーションし、季節感たっぷりの健康にも配慮したお弁当を開発しました。1年間に6種類のお弁当を販売しました。学生たちはお弁当のコンセプトを決め、絵コンテの作成、試作品のブラッシュアップ、試食会議など商品開発の工程を学びました。また、お客様に食べてみたいと思ってもらえるお弁当をつくるには、見た目、味、栄養などさまざまな要素が必要であること、ネーミングでは食品の表示についても学びました。

株式会社光洋とのコラボによる
「お弁当開発プロジェクト」





HPはこちら

CONCERT Greats!

高校音楽科 外部コンサート2022

約3年前、新型コロナウイルス感染症が流行して以来、クラブ活動や演奏会、コンクールが軒並み中止となりました。吹奏楽部は練習さえできず、音楽科はレッスンがすべてオンラインとなり、アンサンブルや合奏の機会を奪われました。さまざまな制限の中、感染症対策を行いながら少しずつ練習やコンクールが再開され、2021年の秋頃、御堂筋まちづくりネットワークから演奏の依頼をいただき、御堂筋のビル前のスペースでピアノや弦楽器のミニコンサートに出演しました。街ゆく人々は



足を止め、生徒たちの音楽に耳を傾けていました。このイベント出演を皮切りに、セントレジスホテルや淀屋橋odona前でのコンサート、北御堂ワクワクキッズパークに出演させていただくことができました。コロナ禍で中止になっていたピース大阪での「平和記念コンサート」の再開、学校に程近い坐摩神社では「せんば鎮守の杜芸術祭」が少し

形を変えての再開となりました。また、ザ・シンフォニーホールで開催された「プラスdeクラシックフェスティバル」にも合唱で参加させていただき、現在はコロナ禍になる前以上の演奏活動をさせていただいています。音楽を人前で演奏し、そして聴いていただけることの喜びを噛みしめ、生徒たちは日々成長し、音楽との関わりを大切にしながら音楽活動に励んでいます。



GRADUATE Congratulations!

大阪大学外国語学部 進学

特進コースで叶えた夢

「自分を高めること」それが私の高校時代のテーマでした。入学時より語学系トップ大学への進学を志していた私にとって、クラス全体が高い目標に向かって勉強に集中できる特進コースは、まさに最適な場所でした。

特進コースは、少数精鋭のクラス編成でとても恵まれた環境です。先生方が生徒一人ひとりの状況を細かく把握し丁寧な指導をしてくださること、毎日の学習習慣を定着させてくれること、そして何より一緒に頑張れる心強い仲間がいることが最大の力となりました。

野田 祐那さん (2021年度 普通科特進コース卒業)

日々の課題や小テストでの反復練習は、地味で苦労も多いですが、成績アップへの最良かつ最短の道です。小テスト合格を目標とするのではなく、それに付随する内容も身につけることをゴールとしていた結果、重箱の隅をつつくような難関大の問題にも難なく対応することができました。

また国立対策では、先生が入試本番までの自分専用のスケジュールをつくってくださり、毎日各教科担当の先生方からのマンツーマン指導を受けていました。自分が陥りやすいミスが分か

り、全体授業では決して得られないプラスアルファの内容を教えてください、とほとんど自分に自信がなくなりました。

特進コースの皆さん、受験の道りは険しいですが、先生を信じて、仲間とともに夢に向かって突き進んでください。応援しています。

野田 祐那 (2021年度 普通科特進コース卒業)



AWARD Congratulations!

中高生部活動等 受賞歴2022

Soai教養講座「華道」



第2回高校生花生けバトル 全国選抜大会

第3位

一般社団法人 全国花き生産協会会長賞
高2/上田 奈々葉、松田 楓、辻本 明日美

全国高校生花いけバトル 近畿大会

優勝

高2/上田 奈々葉、松田 楓

第6回全国高校生花いけバトル 栗林公園杯2022

優勝

高2/上田 奈々葉、松田 楓

器械体操部



体操天皇杯 第76回 全日本体操個人総合選手権

第15位

高3/松田 透和

第61回 NHK杯

第10位

個人総合高3/松田 透和

第9回 アジア体操競技選手権大会

銅メダル

団体(日本)高3/松田 透和

第76回全日本体操種目別選手権

第7位 段違い平行棒
中3/中村 遥香

第5位 平均台

第53回全国中学校体操競技選手権大会

第2位

団体総合中3/林 佑芽・白倉 里美佳、中2/宗重 奏・中村 遥香、中1/佐伯 弥依・水久保 凜

第2位 優勝 第2位

個人総合 段違い平行棒 中2/中村 遥香

ゆか

第5位 第4位

個人総合 平均台 中3/林 佑芽

ポール&エアリアル

2022 World Pole and Aerial Championships

優勝 第4位

Pole Sports 18歳以上部門 高3/小西 鹿乃

Pole Sports ジュニア部門 高2/小西 沙和

優勝 第3位

Aerial Hoop Sports シニア部門 高3/小西 鹿乃

Aerial Hoop Sports ジュニア部門 高2/小西 沙和

吹奏楽部



第72回関西吹奏楽コンクール

銀賞

高等学校小編成の部

第28回日本管楽合奏コンテスト 全国大会

優秀賞

高等学校S部門

書道部

第38回 高円宮杯日本武道館書写書道大会

大会奨励賞

毛筆の部、硬筆の部高3/井戸 歩帆

第65回全国硬筆作品展覧会

日本書道教育連盟賞

高3/井戸 歩帆、木下 美咲

新体操部

第76回近畿高等学校新体操選手権大会

第8位

団体Aチーム高3/小西 彩羽、白神 萌々杏、高2/伊東 奈子、坂村 綾香、高1/岸田 妃実花

第53回全国中学校新体操選手権大会

第5位

中3/谷 春花、中2/森脇 璃子、中1/菊池 愛依紗、田中 桃華、大崎 暁璃

第22回全日本新体操クラブ選手権

第7位 第8位

シニアの部フープ5(予選) ボールリボン(決勝) 高3/小西 彩羽、高2/伊東 奈子、坂村 綾香、飯田 杏彩、高1/榎本 光希

第16位

ジュニアの部中3/谷 春花、中2/森脇 璃子、中1/菊池 愛依紗、田中 桃華、大崎 暁璃

英検®

準1級取得

普通科特進コース 高2/板東 真央

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。



相愛大学附属音楽教室演奏会

教室出身者によるサマーコンサート

2022年7月16日に
本町学舎講堂にてサマーコンサートが開催されました。

今回のテーマは

ようこそ!白と黒の世界へ

前半は在室生によるコーラス。後半は卒業生による演奏です。
今回の出演者は市川貴一(Pf)さんです。
たくさんの音色で素敵な演奏を披露してくれました。



2023年度

相愛大学附属音楽教室生募集

随時受付 「入室準備コース」開講中

毎月受付 相愛大学附属音楽教室 通信教育《楽典》

詳細情報 <https://www.soai.jp/onkyo>

入室試験 春期・秋期入室試験の詳細については
ホームページをご覧ください。

募集対象 学齢2年前より大学受験生まで

お問合せ TEL: 06-6262-0662 Fax: 06-6262-0664



相愛学園ウイステリア基金

ご寄附のご案内

相愛学園のさらなる発展に向け、今年も引き続きご支援をお願いいたします。今年も皆さまから「ウイステリア基金」としてご寄附をお願いし、それを教育、研究活動の充実に活用させていただきたいと考えております。なにとぞご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

詳細情報 相愛学園ホームページ
<https://www.soai.jp/wisteria/index.html>

お問合せ 学校法人相愛学園
総務部財務課(ウイステリア基金担当)
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1
TEL: 06-6612-5901(平日9時~17時)
MAIL: wisteria@soai.ac.jp



2024年度

相愛ジュニアオーケストラメンバー募集

相愛ジュニアオーケストラでは2024年度からの新たなメンバーを募集しております。

詳細情報 相愛ジュニアオーケストラFacebook
<https://www.facebook.com/相愛ジュニアオーケストラ-100431264881125/>

募集対象 小学1年生から高校3年生まで
※2024年度4月時点

募集楽器 弦楽器

お問合せ 相愛大学音楽学科合同研究室内
相愛ジュニアオーケストラ係
TEL: 06-6612-3954(土日祝 閉室)



卒業生・修了生対象

「就業力調査」のご案内

相愛大学では教育内容の改善や社会的貢献につなげることを目的として「就業力調査」を実施しています。現在の就業状況等につきまして、皆さまからのご意見をお伺いし今後の就職支援に役立てる次第でございます。お忙しいとは思いますが、よりよい大学にしていけるためにぜひとも協力くださいますようお願いいたします。

詳細情報 QRコードまたは
相愛大学ホームページより
「就業力調査」のバナーをクリック



2022年 コンクール受賞者

名前	学年	専攻	コンクール名・部門	受賞
馬瀬 碧月	高3	声楽	第23回大阪国際音楽コンクール 声楽部門 Age-H	ファイナル 入選
中馬 朋香	高3	ピアノ	第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 高校生の部	全国大会 ベスト30賞
竹内 葉々見	高3	電子オルガン	SUGANAMI ELECTONE FESTIVAL 2022 アンサンブル コンペティション部門	優秀賞
野呂 ももか	高3	電子オルガン	YAMAHA ELECTONE FESTIVAL2022 ソロ演奏部門 一般の部	セミファイナル 奨励賞
今井 満美	高3	フルート	第25回びわ湖国際フルートコンクール ジュニア部門	本選 入選
			第42回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール フルード部門 高校生の部	全国大会 審査員賞
			第32回日本クラシック音楽コンクール フルード部門 高校生の部	全国大会 入選
			第24回日本演奏家コンクール 木管楽器部門 高校生の部	第2位/神戸市長賞
			第76回全日本学生音楽コンクール フルード部門 高校生の部	大阪大会 第1位/全国大会 入選
染谷 咲来	高3	サクソフォン	第32回日本クラシック音楽コンクール サクソフォン部門 高校生の部	全国大会 入選
			第23回大阪国際音楽コンクール 管楽器部門 Age-H	ファイナル 入選
榎本 このは	高3	ヴァイオリン	第13回すいたフィーンズクラシックフェスティバル 高校生以上の部	本選 奨励賞(アンサンブル)
田中 結希	高3	ヴァイオリン	第13回すいたフィーンズクラシックフェスティバル 高校生以上の部	本選 奨励賞(アンサンブル)
吉井 采瑠	高2	声楽	第28回KOBE国際音楽コンクール 弦楽器部門 B部門	入選
			第76回全日本学生音楽コンクール 大阪大会	本選入選
植田 遠菜	高2	電子オルガン	第7回豊中音楽コンクール	第1位
			第76回瀬田太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	出場
荒木 愛結歌	高2	フルート	YAMAHA ELECTONE FESTIVAL2022 アンサンブル演奏部門 大東楽器大会 一般の部	銀賞
			第24回日本ジュニア管打楽器コンクール ソロ部門 フルードの部 高校生コース	本選 入選
			第5回Kフルートコンクール 高校生部門 動画審査部門	本選 優秀賞
			第7回豊中音楽コンクール 管楽器部門 高校生の部	第3位
			第32回日本クラシック音楽コンクール フルード部門 高校生の部	全国大会 入選
青山 美羽	高1	ピアノ	第76回全日本学生音楽コンクール フルード部門 高校生の部	大阪大会 第1位/全国大会 入選
			第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 高校生の部	全国大会 入選
岡田 桜子	高1	ピアノ	第39回JPTAピアノ・オーデション C部門	奨励賞
小林 東優	高1	ピアノ	ピアノ・ピアノ コンペティション 連弾中級B	本選 優秀賞
フシツアキ明花音	高1	ピアノ	第13回日本ハッコウコンクール 高校A部門	優秀賞/全国大会 入選
大熊 幹子	高1	ヴァイオリン	第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース 弦楽器部門 高校生の部	全国大会 第5位
			第12回クオリア音楽コンクール ヴァイオリン部門 高校生	奨励賞
大熊 幹子	高1	ヴァイオリン	第32回日本クラシック音楽コンクール ヴァイオリン部門 高校生の部	全国大会 入選
			第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース 弦楽器部門 高校生の部	全国大会 第4位
椎崎 理琴	高1	ヴァイオリン	第32回日本クラシック音楽コンクール ヴァイオリン部門 高校生の部	全国大会 第5位
			第12回クオリア音楽コンクール ヴァイオリン部門 高校生	第2位
村上 真璃南	高1	チェロ	第2回芦屋音楽コンクール ヴァイオリン部門 高校生の部	第1位
			第22回泉の森ジュニアチェロコンクール 高校生以上の部	金賞
村上天	高1	チェロ	第24回関西弦楽コンクール	優秀賞/審査員特別賞
			第76回全日本学生音楽コンクール チェロ部門 高校生の部	大阪大会 第1位/全国大会 入選
天野 詩韻	中3	ピアノ	第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース 弦楽器部門 高校生の部	全国大会 第1位
			第28回KOBE国際音楽コンクール 弦楽器部門 B部門	第1位/最優秀賞/神戸市長賞
福田 莉々歌	中3	ヴァイオリン	第23回大阪国際音楽コンクール	ファイナル 入選
			第32回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 中学校女子の部	全国大会 入選
吉村 早千乃	中1	ヴァイオリン	ショパンランドコンクール	本選 入選
			第4回スベッツフェリ国際音楽コンクール カテゴリーB	1st Absolute Prize
塚本 莉央	中3	ピアノ	第9回下田国際音楽コンクール ヤングアーティスト部門	金賞/大賞
			第15回国際ジュニア音楽コンクール 動画審査部門 ヴァイオリンE部門	第1位
大屋 響	中3	ヴァイオリン	第4回フランス音楽コンクール ヴァイオリン(13~16歳)	第2位
			イタリア・パドヴァ国際音楽コンクール カテゴリーC(~18歳)	第2位
藤井 エレナ	中1	声楽	第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 中学生1年生の部	全国大会 第3位
			第23回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-J	ファイナル 入選
川嶋 詩織	小6	ピアノ	第32回日本クラシック音楽コンクール ヴァイオリン部門 中学校の部	全国大会 入選
			第16回ベータン音楽コンクール 自由曲コース 弦楽器部門 中学生の部	全国大会 第1位
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール ピアノ部門 中学生3年生の部	審査員賞
			第34回京都子供のためのヴァイオリンコンクール	金賞/奨励賞
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第24回関西弦楽コンクール	優秀賞/審査員賞
			第24回日本演奏家コンクール 中学生の部	第2位/神戸市教育委員会教育長賞、ジュニア共演選抜
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第76回全日本学生音楽コンクール 中学校の部 大阪大会	第2位/全国大会 入選
			第76回全日本学生音楽コンクール 中学校の部 全国大会	入選
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第12回クオリア音楽コンクール 中学生部門	第1位
			第23回大阪国際音楽コンクール 声楽部門 ミュージカルコース ジュニア	エスポール賞
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第24回ジュニアピアノコンサート2022 F部門	優秀賞
			第8回ショパン国際ピアノコンクールinASIA 神戸地区大会 小学5・6年生部門	銅賞
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第32回新響ジュニアピアノコンクール C部門	銅賞
			兵庫県学生ピアノコンクール C部門	銀賞
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	日本クラシック音楽コンクール 小学校高学年の部	予選 合格
			第76回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 小学校の部 大阪大会	第2位
松岡 実咲綺	小5	ヴァイオリン	第76回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 小学校の部 全国大会	第3位
			第23回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-E3	エスポール賞



教員による
近刊図書

- 社会福祉 第3版 (図解で学ぶ保育)
直島正樹、原田句哉編著
●明文書林
●2022年12月
●定価2,310円(税込)
- 幼児期 運動あそびの進め方 (新みんなが輝く体育、4)
学校体育研究同志会編、前田雅章[ほか]著
●創文企画
●2021年3月
●定価1,870円(税込)

- 『小天地』復刻版 (第2回配本)・別冊
解説:西山康一、荒井真理亜 [ほか]
●2022年11月刊行
●定価52,800円(税込)
- 別冊NHK100分de名著 「わか道」の達人 水木しげる 釈微宗[ほか]著
●NHK出版
●2023年1月
●定価1,210円(税込)
- 蓮如 ともに泣く求道者 (構築された仏教思想) 佐々木隆晃著
●佼成出版社
●2022年8月
●定価1,760円(税込)
- 徹底討論! 問われる宗教と「カルト」 (NHK出版新書) 釈微宗[ほか]著
●NHK出版
●2023年1月
●定価913円(税込)
- くり返し読みたい 歎異抄 釈微宗監修
●リベラル社
●2022年2月
●定価1,320円(税込)
- 学佛 仏の大悲心を学ぶ 直林不退著
●永田文昌堂
●2022年6月
●定価1,650円(税込)
- 喜悲哀楽のお経を読む 釈微宗著
●朝日新聞出版
●2022年6月
●定価1,650円(税込)
- みんなの宗教2世間題 横道誠編、釈微宗[ほか]著
●晶文社
●2023年2月
●定価1,980円(税込)

相愛学園イベントガイド
SOAI Event Guide

(2023年5月～2024年3月)

Ⓜ = 本町学舎 Ⓝ = 南港学舎

※開催日時等は変更となる場合がございます。

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 5月13日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 5月16日(火)・17日(水)・18日(木)
特別奨学生による演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 5月20日(土)
降誕会 / 親鸞聖人降誕会法要
Ⓜ:講堂 ● 5月28日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 5月29日(月)
相愛ウィンドオーケストラ発表演奏会
Ⓝ:ホール ● 5月30日(火)
公開講座ヴィオラスペース2023
Ⓜ:アンサンブルスタジオ ● 6月1日(木)
定例礼拝 Ⓝ:ホール 自由参拝 ● 6月3日(土)
中学校・高等学校
第1回オープンスクール Ⓜ:講堂 ● 6月3日(土)
公開講座「人文学を楽しむPart6」①
Ⓝ 受講無料 ● 6月3日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 6月4日(日)
全日本吹奏楽コンクール課題曲講習会
Ⓝ:ホール 受講無料 ● 6月14日(水)
相愛コンサート(ピアノ専攻教員による)
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 6月15日(木)
2・3・4回生金管アンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 6月18日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 6月22日(木)
1回生金管アンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 6月24日(土)
高3音楽科乙女コンサート
Ⓜ:講堂 ● 7月1日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 7月6日(木)
定例礼拝 Ⓝ:ホール 自由参拝 ● 7月8日(土)
公開講座「人文学を楽しむPart6」②
Ⓝ 受講無料 ● 7月15日(土)
サマーコンサート(音楽教室)
Ⓜ:講堂 ● 7月16日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 7月16日(日)
相愛フィルハーモニア
第6回定期演奏会 Ⓝ:ホール | <ul style="list-style-type: none"> ● 7月29日(土)
中学校・高等学校
第2回オープンスクール Ⓜ:講堂 ● 7月30日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 8月5日(土)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 8月19日(土)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 9月2日(土)
相愛サクソフォン
アンサンブル定期演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 9月2日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 9月2日(土)
高2音楽科乙女コンサート
Ⓜ:講堂 ● 9月3日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 9月16日(土)
公開講座「人文学を楽しむPart6」③
Ⓝ 受講無料 ● 9月16日(土)
中学校・高等学校
第3回オープンスクール Ⓜ:講堂 ● 9月21日(木)
ダブルリードアンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール ● 10月5日(木)
定例礼拝 Ⓝ:ホール 自由参拝 ● 10月6日(金)
相愛コンサート(声楽専攻教員による)
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 10月7日(土)
フルートオーケストラ演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 10月7日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室①
Ⓝ ● 10月7日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 10月8日(日)
沙羅の木会合同発表会
Ⓝ:ホール ● 10月10日(火)
管打楽器専攻成績優秀者による
独奏演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 10月21日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室②
Ⓝ ● 10月21日(土)
中学校・高等学校
第4回オープンスクール Ⓜ:講堂 ● 10月26日(木)
相愛オーケストラ第80回定期演奏会
ザ・シンフォニーホール | <ul style="list-style-type: none"> ● 10月28日(土)
大学祭 Ⓝ ● 10月29日(日)
大学祭・相愛音楽祭 Ⓝ ● 11月2日(木)
報恩講話要 Ⓝ:ホール ● 11月4日(土)
クラリネット・アンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール ● 11月4日(土)
市民仏教講座
Ⓝ:学生厚生館S307 受講無料 ● 11月5日(日)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 11月11日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室③
Ⓝ ● 11月11日(土)
相愛寄席 Ⓝ:ホール ● 11月12日(日)
ピアノ専攻生による演奏会 Ⓝ:ホール ● 11月17日(金)
相愛ウィンドオーケストラ
第45回定期演奏会
ザ・シンフォニーホール ● 11月25日(土)
公開講座「人文学を楽しむPart6」④
Ⓝ 受講無料 ● 11月25日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室④
Ⓝ ● 12月1日(金)
成道会法要 Ⓝ:ホール 自由参拝 ● 12月2日(土)
打楽器アンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 12月5日(火)
相愛サクソフォンアンサンブル
ジョイフルコンサート Ⓝ:ホール ● 12月9日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室⑤
Ⓝ ● 12月10日(日)
大学ミニオープンキャンパス Ⓝ ● 12月10日(日)
相愛フィルハーモニア名曲コンサート
Ⓝ:ホール ● 12月16日(土)
第68回相愛大学附属音楽教室
修了演奏会 Ⓜ:講堂 ● 12月18日(月)
金管アンサンブルフェスタ
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 12月23日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室⑥
Ⓝ ● 12月23日(土)
中学校・高等学校
第5回オープンスクール Ⓜ:講堂 | <ul style="list-style-type: none"> ● 1月16日(火)
親鸞聖人御正忌法要/
学園関係者追悼法要
Ⓜ:講堂 学園関係者対象 ● 1月20日(土)
公開講座 ヘルシーダイエット教室⑦
Ⓝ ● 1月20日(土)
高1音楽科乙女コンサート Ⓜ:講堂 ● 1月23日(火)
古楽器・アンサンブル演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 2月3日(土)
公開講座「人文学を楽しむPart6」⑤
Ⓝ 受講無料 ● 2月17日(土)
音楽専攻科修了演奏会 Ⓝ:ホール ● 2月28日(水)
高等学校卒業奉告参拝/帰敬式
浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺) ● 3月1日(金)
高等学校卒業式 Ⓜ:講堂 ● 3月3日(日)
相愛オーケストラ第81回定期演奏会
Ⓝ:ホール ● 3月11日(月)
学内オペラ公演
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 3月13日(水)
作曲専攻作曲作品発表会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 3月14日(木)
大学卒業奉告参拝
本願寺津村別院(北御堂) ● 3月15日(金)
中学校卒業奉告参拝
本願寺津村別院(北御堂) ● 3月16日(土)
中学卒業式 Ⓜ:講堂 ● 3月16日(土)
スプリングコンサート(音楽教室)
Ⓜ:講堂 ● 3月18日(月)
大学卒業式 Ⓝ:ホール ● 3月20日(水)
相愛ジュニアオーケストラ
第25回発表演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 3月20日(水)
大学卒業演奏会
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 3月23日(土)
大学オープンキャンパス Ⓝ ● 3月24日(日)
相愛ウィンドオーケストラポップスコンサート
Ⓝ:ホール 入場無料 ● 3月26日(火)
大学卒業演奏会
いずみホール
入場料:1000円(全席自由) |
|--|--|--|---|

公式SNSでは、最新のお知らせやイベント情報などを発信しています。ぜひフォロー、投稿のシェアをよろしくお願いいたします。



相愛大学公式Twitter

ユーザー名 @SOAI_univ



相愛中学校・高等学校公式Instagram

ユーザー名 @soai_insta



相愛ファミリアの送付先を変更される場合は、右記QRコードまたはホームページの対象者別メニュー「卒業生の方」からご連絡ください。
<https://www.soai.ac.jp> ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

